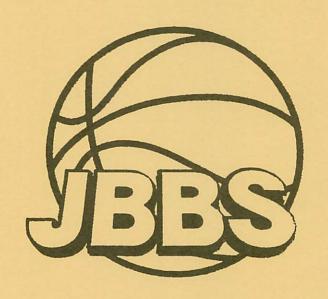
抜粋版

バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:46



2010年8月

NPO法人 日本バスケットボール振興会

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」 私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに 世界に類のないボールと スポーツエキップメント・メーカーとして つねに完璧な製品づくりを目指しています。

本大会唯一の公式試合球

BGL7 GL7 国際公認球 検定球 貼り・天然皮革、7号球



www.molten.co.jp

株式会社 〒12 〒 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7

目 次

0	男女日本代表チーム強化進む・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
0	b j リーグ初優勝 浜松東三河フェニックス8
0	浜松東三河フェニックス 中村和雄ヘッドコーチ バスケットボールへの熱情
0	オリンピックベルリン大会における バスケットボールに関する史的考察及川佑介1 4
0	NCAA 選手権と NIT を制したワッツ・ミカサのこと1 8
0	スペシャルオリンピックス日本・東京 夏季地区大会を支援する上谷富彦2 0
0	会員だより スペシャルオリンピックス日本・東京の バスケットボールプログラムをよろしく根岸眞子2 1
	我が人生のバスケットボール物語小笠原義昭2 3
0	日本協会創立80周年を迎える2 5
0	沖縄インターハイの結果2 6
0	会員の皆様プラザへの投稿で会の活動に参加しましょう28
0	プラザ こぼればなし2 9

男女日本代表チーム強化進む

[編集部]

《男子》

男子は新たに就任したトーマス・ウィスマンHC(ヘッドコーチ)のもとに着々と強化に励んでいる。

ウィスマンHC就任当初の5月には、代表候補選手として約30名以上が召集されたが、その後、個人の都合や怪我などによって徐々に候補が絞られ、最近では15名のチームとなってチャイニーズ・タイペイで開催されたジョーンズカップに出場し好成績を残した。

現在FIBAランキングで32位の男子日本代表は、2012年ロンドン・オリンピック、2014年の世界選手権、2016年のリオデジャネイロ・オリンピックの出場権獲得を最終目標として、先ずはアジア地区予選突破に焦点を絞り、チーム一丸となって国際舞台で勝てる逞しいチーム作りに邁進することを短中期目標に掲げている。

代表選手としては、中心選手である網野友雄、桜井良太に加え、これまで若手であった竹内公輔、石崎巧ら次世代の日本代表の中核を担う選手と、リンク栃木の田臥勇太、川村卓也、竹田謙、伊藤俊亮らウィスマンHCの理念を熟知している選手が含まれている。

[男子日本代表メンバー]

主なスタッフ

役 職	氏 名	所 属
ヘッドコーチ	トーマス・ウィスマン	日本協会
アシスタントコーチ	東野 智弥	日本協会
マネージャー	石坂 雅彦	日本協会

候補選手

No.	選手名	P	身長	体重	年齢	所 属
			c m	kg	歳	
4	永山 誠	SG	184	80	32	パナソニックトライアンズ
5	山田 大治	PF	200	105	29	レラカムイ北海道
6	桜井 良太	SF	194	75	27	レラカムイ北海道
7	石崎 巧	PG	188	85	25	日本協会
8	青野 文彦	С	210	120	31	パナソニックトライアンズ
9	川村 卓也	SG	193	86	24	リンク栃木ブレックス
10	竹内 公輔	PF	205	98	25	アイシンシーホース
1 1	網野 友雄	SF	196	87	29	アイシンシーホース
1 2	竹田 謙	SF	188	80	31	リンク栃木ブレックス
13	田臥 勇太	PG	173	75	29	リンク栃木ブレックス
14	伊藤 俊亮	С	204	110	31	リンク栃木ブレックス
1 6	金丸 晃輔	SF	193	78	21	明治大学4年
1 7	木下 博之	PG	178	70	30	パナソニックトライアンズ
18	広瀬 健太	SF	193	90	25	パナソニックトライアンズ
1 9	満原 優樹	PF	198	93	20	東海大学2年



<ジョーンズカップの成績>

7月14日からチャイニーズ・タイペイで開催されたジョーンズカップには、以下の7チームが参加し、日本代表は3位となっている。

参加チーム 日本代表、フィリピン代表、イラン代表、レバノン代表、オーストラリア代表 チャイニーズ・タイペイ代表、明星大学

日本代表の対戦成績

7/14	日	本		82 - 87	0	レバノン
7/15	日	本	0	97 - 69		オーストラリア選抜
7/16	日	本		73 - 77	0	イラン
7/17	日	本	0	94 - 85		チャイニーズ・タイペイ
7/19	日	本	0	84 - 74		フィリピン
7/20	日	本	0	83 - 67		チャイニーズ・タイペイ大学選抜

<日本協会創立80周年記念国際親善大会>

日本協会創立80周年記念大会と銘打った国際親善大会は、アジアの強豪レバノン代表チームを招いて7月24日を皮切りに国内で3試合を開催した。

今年開催の男子世界選手権にアジア代表として出場するレバノンに対して、日本代表チームは1勝2敗と善戦、少しずつではあるが強化が実を結んできているようだ。

7月24日(土) 愛知県豊田市総合体育館

チーム P	1	2	3	4	延長	合計
日本代表●	14	21	13	29	10	87
レバノン代表	19	18	20	20	15	92

7月25日(日) 東京都墨田区総合体育館

チーム	P	1	2	3	4	合計
日本代表	0	26	13	18	22	79
レバノン代表		16	14	25	22	77

7月27日 (火) 福島県須賀川アリーナ

チーム	P	1	2	3	4	合計
日本代表		24	18	12	26	80
レバノン代表	0	16	27	24	26	93

この後日本代表チームは、更に強化合宿を重ね、8月7日からレバノンのベイルートで開催される、第3回アジアスタンコビッチカップ大会に出場する。

この大会への出場チームは次のとおりだが、優勝チームに次の第26回FIBAアジア選手権大会への出場権が与えられる。

出場国 日本、イラン、イラク、カザフスタン、カタール、シリア、チャイニーズ・タイペ イ、フィリピン、ヨルダン、レバノン

また、優勝チームと開催国を除いて、最上位4チームが属するサブゾーンに第26回FIBAアジア選手権への出場枠が追加される。

更に、今年11月に中国広州で開催される第16回アジア競技大会に向けて強化が進められるが、先ずはアジアにおける上位進出を目指して頑張って欲しいものである。

《女 子》

9月にチェコで開催される世界選手権大会への出場権を獲得している女子日本代表は、中川 HC (ヘッドコーチ) のもと、去る4月1日から強化合宿に突入、7月までにリトアニアへの 海外遠征を含めて第6次までの合宿を終えた。5月にはスペインのプロリーグで活躍している 元シャンソン化粧品の石川幸子選手を追加招集し、着々と強化を続けている。

中川HCは、「世界と比べて日本は身長的に劣るので、これをリカバーすることは容易ではないが、早くすばしこいバスケットが展開できれば展望は開けると思っている」と発言、世界選手権ではベスト8入りが当面の目標と語っている。

女子についての海外事情をもよく理解している中川HCは、海外遠征や国内での国際大会については、なるべく上背のあるチームと対戦して選手に上背対応の経験を積ませたいとも言っている。女子はアジアにおいて中東諸国の参加がないだけに、主なライバルは中国を含めた東アジアのチームであり、これらを制すれば次のオリンピック出場が可能になる。



[女子日本代表メンバー (第5次合宿)]

主なスタッフ

役 職	氏 名	所 属
ヘッドコーチ	中川 文一	日本協会
アシスタントコーチ	古海 五月	日本協会
アドバイザリーコーチ	星澤 純一	神奈川県立金沢総合髙校
アドバイザリーコーチ	梅嵜 英毅	山梨学院大学

候補選手

No.	選手名	P	身長	体重	年齢	所 属
			c m	kg	歳	
1	石川 幸子	SF	178	68	31	日本協会
2	三谷 藍	PF	182	68	31	富士通レッドウェーブ
3	川村 李沙	PF	185	73	28	シャンソン化粧品Vマジック
4	名木 洋子	SF	175	67	28	富士通レッドウェーブ
5	大神 雄子	PG	170	63	27	JOMOサンフラワーズ
6	櫻田 佳恵	SG	170	63	26	トヨタ自動車アンテロープス
7	鈴木 あゆみ	SF	180	69	24	富士通レッドウェーブ
8	諏訪 裕美	С	183	84	24	JOMOサンフラワーズ
9	藤吉 佐緒里	SG	178	67	23	シャンソン化粧品Vマジック
10	吉田 亜沙美	ΡG	165	64	22	JOMOサンフラワーズ
11	髙橋 礼華	SF	177	65	22	日本航空JALラビッツ
1 2	高田 真希	ΡF	183	74	20	デンソーアイリス
1 3	間宮 佑圭	ΡF	183	72	20	JOMOサンフラワーズ

なお上記以外に、久手堅笑美、内海亮子、渡嘉敷来夢の3選手がメンバーとなっているが、 いずれの選手も故障のため第5次合宿には参加していない。

この後は8月23日から北海道での第7次強化合宿の後、日本協会創立80周年記念国際親善大会に臨み、9月にはフランスへ遠征して第8次強化合宿を行い同国で開催される国際大会に出場した後、世界選手権大会が開催されるチェコへ入る予定。

女子についていえば、2012年のロンドン・オリンピック出場が見えているだけに、多くの海外遠征で上背のある国々と対戦して経験を積み、来年日本で開催されるFIBAアジア選手権兼ロンドン・オリンピック予選となるアジア選手権制覇を期待したい。

<日本協会創立80周年記念女子国際親善大会>

日本協会創立80周年記念大会と銘打った女子の国際親善大会は、世界の強豪オーストラリアの隣に位置する強豪ニュージーランド代表チームを招いて8月28日の北海道大会を皮切りに国内で3試合を開催する。お近くにおいでの方は是非とも応援に駆けつけていただきたいものである。

第1戦 北海道札幌大会

8月28日(土) 14:30~ 北海道立総合体育センター(きたえーる)

第2戦 東北仙台大会

8月29日(日) 16:00~ 仙台市青葉体育館

第3戦 東北山形大会

8月31日 (火) 19:00~ 山形市総合スポーツセンター

<第16回FIBA女子世界選手権大会>

ここで女子の世界選手権大会についてもう一度おさらいをしておこう。9月23日から10月3日までヨーロッパのチェコで開催される世界選手権には、世界の上位国16チームが出場する。第1次ラウンドはAグループからDグループまでそれぞれ4チームずつに分かれたグループ毎に総当たりのリーグ戦を行い、各グループの上位3チームが第2次ラウンドへ進む。

第2次ラウンドはAグループとBグループの6チーム、CグループとDグループの6チームがリーグ戦を行い、各グループの上位4チームずつが決勝ラウンドへ進む。

決勝ラウンドはトーナメント方式で行われ、1回戦で勝ったチームが準決勝へ進出し、負け たチームは順位決定戦へ回る。

出場国

チェコ 開催国

アメリカ 前回オリンピック優勝国

フランス ヨーロッパ大陸選出

ロシア同 上スペイン同 上ベラルーシ同 上ギリシャ同 上

セネガルアフリカ大陸選出マリアフリカ大陸選出中国アジア大陸選出

 韓国
 同上

 日本
 同上

オーストラリアオセアニア地区選出ブラジルアメリカ大陸選出アルゼンチンアメリカ大陸選出カナダアメリカ大陸選出

第1次ラウンド日本チームが属するDグループ

日本、チェコ、アルゼンチン、ロシア

く第24回FIBAアジア女子選手権大会

兼ロンドン・オリンピックアジア地区予選日本での開催決定>

6月20日マレーシア・クアラルンプールにて開催されたFIBAアジア総会において、首題の開催地が審議され、長崎県で開催されることが決定された。この大会の日本開催は2004年1月に宮城県仙台市で開催した第20回大会(アテネ・オリンピック予選)以来7年ぶり6回目となる。

第24回FIBAアジア女子選手権大会

平成23年8月 長崎県大村市体育文化センター (シーハット大村)

参加チームはアジアのレベル I 6チーム

日本、韓国、中国、チャイニーズ・タイペイ、インド、レバノン

この大会の優勝チームにはロンドン・オリンピック出場権が与えられ、2位3位のチームにはFIBA女子オリンピック世界最終予選の出場権が与えられる。世界最終予選は各大陸から12チームが出場し上位6チームにロンドン・オリンピック出場権が与えられる。

b j リーグ初優勝 浜松東三河フェニックス

「編集部]

bjリーグ、2009-2010シーズンは昨年10月に開幕、全国を東西カンファレンスの2グループに分けレギュラーシーズンリーグ戦の後、5月23日のファイナル最終戦で今シーズンの幕を下ろした。

東西各カンファレンスのレギュラーシーズン成績は下記の通りだが、各チームともホームゲーム26試合、アウェイゲーム26試合、合計52試合を戦い、各カンファレンスの上位4チームによるプレイオフセミファイナルでそれぞれの勝者2チームを決定し、東西カンファレンス4チームによるプレイオフファイナル4でシーズン覇者を決める方式だ。

JBLからbjリーグへ移行した「浜松東三河フェニックス」は、bjリーグ参入2年目にしてレギュラーシーズンリーグ戦を圧倒的な成績で2年連続して制し、セミファイナル、ファイナル戦でも快勝して見事優勝に輝いた。参入2年目にしてのbjリーグ制覇は、JBLで3年目にして優勝したリンク栃木とともに注目に値する。

なお、bjリーグでは各試合における外国籍選手の出場は次のようになっている。

第1Q、第3Q、第4Qは、アジア地域以外の外国籍選手がオンザコート3名まで出場でき、アジア地域を含めた外国籍選手は合計4名まで出場できると同時に、日本人選手が1名以上オンザコートにいること。第2Qは上記条件に対して外国籍選手はマイナス1名で、日本人選手が2名以上オンザコートにいることと決められている。また選手の移籍はシーズン中であっても原則的に認められる。

競技規則はFIBAのルールを基本にし、一部NBAのルールを取り入れている。取り入れているNBAルールはゴール近くの制限区域の形と、コート上のプレーヤーがタイムアウトの請求ができる点など。

観客動員も年々増加していて2009-2010シーズンは、総動員数が100万人を超えている。どこの会場でも熱狂的なファンが多く、大きな音を出す装置を用いての応援合戦や、チアーガールによる華麗な演技も面白い。

また、2010-2011シーズンは更にチーム数が増え、東西両カンファレンスで16チームが出場することになっている。

[2009-2010レギュラーシーズンリーグ戦成績]

<イースタン・カンファレンス>

1位	浜松東三河フェニックス	41勝11敗
2位	仙台89ERS	35勝17敗
3位	新潟アルビレックスBB	25勝27敗
4位	東京アパッチ	22勝30敗
5位	埼玉ブロンコス	17勝35敗
6位	富山グラウジーズ	17勝35敗

<ウェスタン・カンファレンス>

34勝18敗 1位 大阪エベッサ 35勝17敗 2位 沖縄ゴールデンキングス 30勝22敗 3位 ライジング福岡 4位 滋賀レイクスターズ 29勝23敗 25勝27敗 5位 大分ヒートデビルズ 6位 京都ハンナリーズ 17勝35敗 13勝39敗 髙松ファイブアローズ 7位

[セミファイナル成績] 2回戦方式だが1勝1敗になった場合、2試合目の後、勝敗決定の ための試合(10分間)を行い勝ったチームが上位となる

<イースタン・カンファレンス>

浜松東三河フェニックス96-68東京アパッチ浜松東三河フェニックス90-80東京アパッチ新潟アルビレックスBB84-83仙台89ERS

仙台89ERS 92-78 新潟アルビレックスBB

勝敗決定戦

新潟アルビレックスBB 23-17 仙台89ERS

<ウェスタン・カンファレンス>

大阪エベッサ61-60滋賀レイクスターズ大阪エベッサ78-68滋賀レイクスターズ沖縄ゴールデンキングス85-70ライジング福岡沖縄ゴールデンキングス79-77ライジング福岡

[ファイナル4成績] 東西カンファレンス同士のチームが戦い勝ったチームが決勝へ進む

大阪エベッサ 84-65 沖縄ゴールデンキングス

浜松東三河フェニックス 102-75 新潟アルビレックスBB

3位決定戦

沖縄ゴールデンキングス 82-75 新潟アルビレックスBB

ファイナル決勝戦

浜松東三河フェニックス 84-56 大阪エベッサ

浜松東三河フェニックス 中村和雄ヘッドコーチ バスケットボールへの熱情

「編集部

去る7月13日、本誌編集部では、bjリーグで本年度優勝した浜松東三河フェニックスの 中村ヘッドコーチにそのプロセスなどをお伺いしようと、今年インターハイに出場する高校男 子の練習を指導しているところへ出向いた。忙しい練習の合間に名将中村ヘッドコーチが語っ たことは、自チームの優勝のことより、以下に述べるような日本の男子バスケットボールのレ ベルアップに対する熱い想いでであった。

中村和雄氏プロフィール



昭和15年(1940)

秋田県出身

昭和41年(1966)~昭和48年(1973) 長崎県鶴鳴女子高校監督

全国優勝3回

昭和49年(1974)~平成4年(1992)

共同石油(現JOMO)監督

全日本総合選手権優勝5回、日本リーグ優勝6回

平成7年(1995)~平成9年(1997)

秋田経法大学監督

平成10年(1998)~平成19年(2007)

JBLオーエスジー・フェニックス監督

平成20年(2008)~平成22年(2010)

浜松東三河フェニックス、ヘッドコーチ

上記以外に昭和54年(1979)から昭和56年(1981)の3年間と昭和60年(1985)から平成2 年(1990)までの6年間女子日本代表チームのヘッドコーチも務めている。

また、biリーグ2009-2010シーズンにおいて、2年連続してイースタン・カンフ ァレンスで1位となり、チームもリーグ史上最高勝率タイ記録を達成したとして最優秀コーチ 賞を受賞している。

中村和雄ヘッドコーチ談

昔、女子日本リーグで指揮をとり、JBLで10年、b j リーグで2年コーチしてきました が、バスケットボールというスポーツ種目の技術面では男子も女子も同じだと思っています。 チームは2年前JBLからbjリーグへ移りましたが、そのきっかけとしては次のようなこ

とが云えると思います。

まず観客を分析してみると、ヨーロッパやアメリカはもとより、アジアにおいても韓国や台 湾のプロバスケットは熱狂的応援で湧いていますし、日本でもbjリーグの観客は相当熱心で す。

biリーグを見に来る観客は、かなりの方がバスケットボールについて素人で、自分でお金 を出してチケットを買って見にきてくれます。それだけにゲームや会場が面白ければ、また来 ようということになるでしょうから、観客動員については圧倒的に増える可能性があると思い ました。

biリーグからは以前から参入の誘いをいただいていましたが、移行することに最初は躊躇 しましたし、チームのオーナーも否定的でした。JBL時代の会社"オーエスジー"は大企業 とは言えない会社でしたので、バスケットの試合で大企業のチームに挑戦して勝つという快感 も要因の一部としてあったと思います。

それがあるとき全く一転して方向性が変わりbjリーグ移行OKというサインが出ました。 私としては、このままJBLに残るのならチームを辞めてbjリーグのチームをコーチしたい という気持ちがありましたので、まさに渡りに舟といった感じでした。

オーナーによれば、選手の費用を含めてこのままJBLにいたらチームを運営して行けないということと、bjリーグが全く既成観念のないリーグだということでした。

一方バスケットボールのTV放映やメディアの取り上げ方が少なくなり、最近のようにマイナーになってしまったバスケットをスタッフや選手をも含めて、もっとハングリーになって立て直さなければいけないと思います。レベルが上がって観客が増え、TV放映が多くなればそこから資金が捻出できるようになり、チームの運営も楽になるはずです。

今、日本協会では2012年のロンドンオリンピック出場へ向けて目標を定めるとしていますが、女子はともかくとしてアジアで10位の男子は難しいと思います。日本でバスケットボールを知っている人なら誰しもそう思うでしょう。目標としてはいいかも知れませんが、基本的には12年後あるいは16年後の姿を目標にして鍛えるべきです。

ミニバスの状況を詳しくは存じませんが、世界に通用する選手を育てるにはミニの頃からどう指導すればよいのかベテランの指導経験者が検討する必要があります。ミニ、中学、高校の子供たちに計画的に予算をつけ、12年後16年後を見据えて強化に取り組めばそれなり成果は期待できます。日本人の良いところは謙虚さ、勤勉さ、組織力などであり他の国民より優れているところもあるので、目を世界に向けてその良いところを活かすにはどう指導すればいいのかなど、指導方法の議論を行う必要があります。

中国や韓国ではとても厳しい練習をしていると聞きます。オリンピックに出るためにはそう やって鍛えられている選手たちと戦って勝たなければならないのです。日本人の長所を生かし ながら、その上に努力するということを教えていかなければ対抗できないでしょう。

身体が弱ければ別ですが、バスケットで走って死んだなどということはいまだ聞いたことがありません。上背や体力などからして選手個々の力ではいくら頑張ってもなかなか世界には及ばないでしょうが、走ることと組織的にプレーすること、5人全員が常に走り回ることによって5人の選手を6人にも7人にも見せることは可能なのです。オンザコートにいる5人全員がいかに走って機能し全員でプレーすることが大切かを教えなければなりません。昨年暮れに高校選抜大会で優勝した仙台の明成高校を教えたときも、組織プレーがいかに大切かを徹底的にコート上で説明しました。

世界と戦える日本代表を作るには、日本人の勤勉さにともなう速さを活かし、頭を使うバスケットをミニのような若いころから一貫して教えることが大切です。 1 2年後16年後を見据えた予算もつけて目標を定め、協会全体で議論して長期強化方針を明確にすれば、男子のオリンピック出場の希望はあると思っています。

昨今ではJBLのTV放映も少なくなりましたが、もしJBLがだめならミニ、中学、高校の試合を放映してもらえないか交渉すべきです。これらの試合はいつも大変な人気で観客も非常に多く入っているのですから、やりようによってはTV放映も可能だと思うのです。

私はシーズンオフに中学や高校のチームを指導していますが、これも今申し上げたように若い選手たちの将来に期待をしているからです。上背のある選手、足の速い選手などそれぞれの特性を生かしたプレーを伸ばすとともに、上背があってもコート全体を速く走れるようになるとか、足の速い選手がもっと早く走るなど、若いころから速い組織プレーを身につけさせなければ国際的には通用しないと思っています。

私はどちらかというと現場主義で机上討論は苦手ですが、どういうバスケットが日本の将来につながるのかということを多くのバスケットボール関係者で論議すべきときだと思います。

アジアをとってみても昔と現在とでは中東 諸国の台頭など事情が異なっていますので、 昔と同じようなバスケットを続けていたので は先行きが開けないでしょう。すでに亡くな



られてしまいましたが、日本には吉井さんという立派な指導者がおりました。吉井さんの理論 については、床を切って走れとか、スタンスを常に低くして構えろとか基本的なことですが大 事な点が多く、私も尊敬していますし、ミニ、中学などの指導者は参考にすべき点が多いと思 います。

うちのチームにいるアメリカからきた選手に対して基本的なことを教えたら、「これは素晴らしい理論だからアメリカで発表したら受けるよ」という笑い話が出ました。私は外国籍選手でも日本人と同じように扱っています。挨拶すること、靴をそろえること、話を聞くときはきちんと相手の目を見ることなど、日本古来の良いところは従ってもらっています。それができなければ辞めてもらっていますし、スポーツの社会では一定の厳しさがあって当然だと思います。少なくとも私はそのようなプロに徹しています。

日本の大学生に茶髪やピアスをしている選手を見かけますが、指導次第でどうにでもなると 思うのです。例えば短パンで膝下まであるロングパンツはフェニックスでは一切禁止ですし、 目上の人を大切にする心は社会的にも必要なことと教えています。

こうしたダメなものはダメという昔のスポーツ精神は多少窮屈な面もありますが、人間形成的には大切なことでその人がやがて結婚したり子供ができたりするとわかってくるものです。 また、そういった事柄を教える指導者も、教えられる側からの信頼感を得るためには日々勉強して勝つことに執着しなければなりません。

日本には心技体という立派な言葉がありますが、心が一番で技術や体力は後からついてくる もので、外国籍選手でもまず心を鍛えます。礼に始まって礼に終わるといったように、日本の 文化には従ってもらっています。

25歳から30歳くらいまでの外国籍選手に厳しい練習をやらせると、自分は大学時代にこういう厳しい練習をやってきましたという。日本人選手は大学で厳しい練習をやってきた者は殆どいないでしょう。中学、高校ではかなり厳しい練習をやって充実していますが、大学に入ると同好会のように皆遊んでしまう。18歳から22歳という体力的にも一番いい時期に楽をして遊んでしまうから技術的に伸びないのです。日本の社会全体が大学生に甘いことにも一因があると思いますが、大学バスケットをもっともっと鍛えなければ国際的地位向上は遠いでしょう。

アメリカで竹内選手や川村選手に偶然出会ったことがありますが、彼らはいつも通訳つきでした。アメリカに勉強に行く以上英語を勉強してアメリカのバスケットを理解するようにしなければ留学が無駄になります。指導者も同様で、バスケット以外に英語を勉強する努力は必須でしょう。いっそ、高校の合宿中にでも英語の勉強をしたらどうですか。そして若い指導者が外国へバスケットの勉強に行って世界に通用するにはどうすればよいのかを工夫していただく

ことが必要です。

最近の日本のバスケットを見ているとミニ、中学、髙校、大学と世代ごとにバラバラな指導をしているように見受けます。何度もいうようですが世界に立ち向かうには一貫した指導方針が必要なのです。例えば日本のセンタープレーヤーがインサイドでのパワープレーに対抗できるかというと全く無理です。しからばセンタープレーヤーも含めてオールラウンドなプレーで空間を作り、そこから攻めるといったような組織プレーが必要なのです。オフェンスでは、どのプレーヤーも常にめまぐるしく入れ替わるといったことが全てのプレーヤーに定着すれば日本のバスケットがそこから変わっていくでしょうし、変わらなければ国際的には通用しないのです。

bjリーグにNBAを経験したコーチが新たに数人入ると聞いています。それぞれの外国籍コーチのバスケットと日本のバスケットとのぶつかり合いになると思いますが、どこまで何が通用するのかなどそのチームと戦うことを楽しみにしています。

もうひとつ提案があります。それは現在日本には留学生を含めて数え切れないほどの外国籍 選手がきています。それらの選手を集めてチームを作らせ、日本の強化に役立てることです。

日本代表チームだったらJBLもしくはbjリーグの外国籍選手が相手、U-18の高校生だったらセネガルからきた高校留学生を相手にして強化試合をやればかならず役に立つはずです。

シーズンオフになると彼らは自分の国へ帰ってしまうので、シーズン中に機会を作ってやればいいと思います。こういった発想の転換は、しり込みするかも知れませんが日本の強化のためには必要なことだと思いますし、必要だったら思い切って実行するべきです。

私はかなり年をとりましたが、指導者としての最後は中学生にバスケットを教えたいと願っています。ミニは勉強していないのでわかりませんが、日本の将来を背負って立つであろう中学生に、将来の夢を託すのも指導者としては楽しいことだと思うようになりました。バスケットを通じていろいろな仲間たちと話ができることはこの上ない楽しみですし、日本のバスケットはいかにあるべきかをいつも考えながら若い人のバスケットを見ています。

お忙しい中、快く取材に応じていただいた中村ヘッドコーチに厚くお礼申し上げますと共に、 ご協力いただいた高校に対して深謝申し上げます。

バスケットボールに関するいろいろなお話の中から、中村ヘッドコーチのバスケットに対する熱情をひしひしと感じさせられた一時であった。

今、日本のバスケットボールをもっと盛り上げようと、日本協会が中心となってbjリーグとJBLをひとつにまとめる方向で努力されている。バスケットを愛する全ての人が、バスケットの振興、発展に情熱をもって取り組めば、バスケットというスポーツのメジャー化はそう難しいことではないと思いたいし、振興会は常にその方向で活動を続けている。

中村ヘッドコーチのご健勝と益々のご活躍を心から祈念するものである。

どんな道も、 自分の道に変えられる。



Sound mind sound body



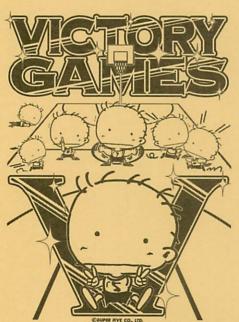


UPER 5

DUPER®

表現。自由人。









DUPER®

URL: http://www.duper.co.jp







デューパーファイブ株式会社 〒130-0023 東京都墨田区立川3-3-5 TEL . (03)3632-7045 (代表) FAX . (03)3632-8327

E-mail: info@duper. co. jp